

各 位

会 社 名 株式会社ソフトフロントホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 二通宏久
 (コード番号：2 3 2 1 東証グロース)
 問合せ先 取締役 財務・管理統括担当 程崎 絵李加
 電 話 03-6550-9270

「継続企業の前提に関する注記」及び「継続企業の前提に関する重要事象等」の 解消に関するお知らせ

当社は、本日公表いたしました「2025年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、「継続企業の前提に関する注記」及び「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、2020年 3 月期まで 9 期連続の営業損失を計上しておりましたが、2021年 3 月期において黒字転換を達成いたしました。しかし、2022年 3 月期以降、再び営業損失を計上する状況が続いておりました。当連結会計年度においては、前年度に掲げた施策①既存事業の再構築と事業基盤の強化を着実に推進した結果、営業黒字を達するにいたりました。一方で、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失は計上しておりますが、これは主に施策②財務基盤の充実と戦略的な投資計画の実行、並びに③資本・業務提携及びM&Aによる業容拡大に伴うアドバイザー手数料の計上、及び資本金・資本準備金の増加による税負担の拡大によるものであります。前年度に掲げた施策②及び③の実施により、当連結会計年度における現預金残高は1,419,489千円に達し、前連結会計年度末に比べ5倍ほど増加が認められました。この大幅な資金増加は、財務基盤の強化と戦略的な投資計画の成果を反映するものです。また、既存事業の再構築による営業黒字の達成は、当社グループの事業基盤が持続的な成長に向けて確実に進化していることを示しております。

このような状況を総合的に判断した結果、現時点において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」及び「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を行わないことといたしました。当社グループは今後も、既存事業への成長戦略に沿った投資を継続しつつ、新規事業の始動、拡大を加速させることで、グループ全体の売上拡大と持続的な成長を目指してまいります。これにより、当社グループは安定的な事業運営と将来の価値創造に向けて、確固たる基盤を構築してまいります。

株主、投資家及び取引先の皆様をはじめ、市場関係者並びにステーク・ホルダーの皆様には、多大なるご心配をお掛けいたしました。今後も更なる業績及び企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

以 上